

Manica rubida

(Latreille, 1802)

巣の入口のまわりにクレーターのような土の山を築く、大きくて赤さび色の山岳のハンターで、ハチのように刺し、創設期の失敗には容赦がありません。



写真：Philipp Hoenle (myrmecophil), CC0 1.0

ひと目でわかる情報



巣の温度

20–28 °C

巣の中



巣の湿度

50–70 %

巣の中



休眠

5–10 °C

10月–3月



結婚飛行

4月–6月

暑い日



働きアリ

5–9 mm

どれも同じ大きさ



女王

10–13 mm

女王は1匹または複数



コロニーの規模

働きアリ3,000匹規模

成長速度：速い



脱走リスク

中程度

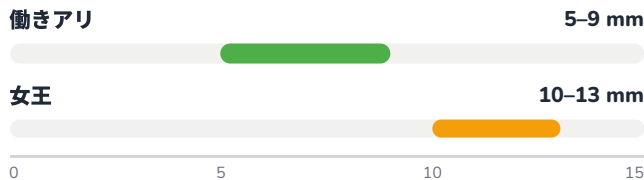
アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

- Ytongの巣
- 自然再現型のセットアップ
- 試験管セットアップ

この評価の理由

- △ 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう
- △ 半閉鎖型：創設中の女王に餌を与える必要があります
- △ 働きアリが刺すことがあります

飼育者からのメモ

ヒント

びしょ濡れの巣にせず、湿った所からかなり乾いた所までの勾配を作りましょう。濡れた部屋からはぼ乾いた部屋まで3つの部屋を用意したところ、いちばん乾いた部屋に住みついたという飼育者もいます。ただし、小さなコロニーは巣が乾くことにもとても敏感です。

注意

創設中の女王アリは自分で狩りをするので、初日から餌に届くようにしてください。小さなアウトワールドを用意するか、ごくこまめに餌を与え、最初の幼虫が現れたら、女王アリが運べる小さなタンパク質の欠片を、最低でも1日1回与えましょう。多くのコロニーを育てた飼育者は、この段階で1日1～2回与えています。